

自己評価報告書

平成23年5月23日現在

機関番号：32606
研究種目：若手研究（B）
研究期間：2008～2011
課題番号：20720189
研究課題名（和文） 古都・長安の“再”発見－足立喜六著『長安史蹟の研究』を中心に
研究課題名（英文） Rediscovery of Old City “Chang An”
研究代表者 村松 弘一（Muramatsu Koichi）
学習院大学・東洋文化研究所・准教授
研究者番号：70365071

研究分野：東洋史

科研費の分科・細目：

キーワード：中国古代、古写真データ、都市の変化、古都、長安

1. 研究計画の概要

明治39年（1906年）に中国・西安の陝西高等学堂に赴任した足立喜六氏が著した『長安史蹟の研究』掲載の写真を通して、清朝末期から民国初期における古都・西安の変化を写真資料に基づき復元し、その過程で海外の研究者等の活動によって文化財がどのような運命をたどり、その結果、中国における文化財保護の観念がどのように生まれたのか、そして、博物館が成立したのかという問題について考察する。古都・長安における文化財の保護はその地域の郷土意識を形成する方法であるとともに、清朝末期から民国初期におけるナショナリズムの形成にも重要な政策であった可能性も考えられる。

本研究では〔アプローチ1〕西安古写真資料の収集と整理〔アプローチ2〕碑林博物館・陝西高等学堂に関する調査〔アプローチ3〕海外流出文化財の調査の三つのアプローチから調査を実施する。

2. 研究の進捗状況

〔アプローチ1〕

西安古写真資料の収集と整理

・西安古写真のデータ収集・撮影

本研究が基礎とする足立喜六『長安史蹟の研究』等に掲載されている西安の古写真およそ500枚をスキャニングし、西安にて同アングルから撮影をおこなった。

・足立喜六氏関係資料の調査

足立喜六氏の長男の子の鶴田温子氏所蔵の足立喜六氏遺品に関する調査をおこなった。

〔アプローチ2〕碑林博物館・陝西高等学堂に関する調査

・近代西安の文物保護についての研究

古写真に見られる文化財の近代における保護状況について検討するため、『西安碑林史』等の資料で碑林から陝西省歴史博物館開設に至る経緯について整理し、「西安文物保護事業年表（稿）」を作成した。また、西京籌備委員会の文物事業を調査・整理し、南京国民政府の西北開発や重慶国民政府の西北芸術文物考察団と文物事業についてまとめた。

・清末西安の教育と日本人教習の調査

足立喜六が陝西高等学堂に赴任していた1906年－1910年の陝西省における日本人教習の受け入れ状況・教高等学堂の教育カリキュラム・日本人教習の生活について、日本外務省記録を整理した。

[アプローチ3] 海外流出文化財の調査

・米国ペンシルバニア大学博物館調査

『長安史蹟の研究』に掲載されている唐昭陵の六駿のうち2枚はペンシルバニア大学博物館におさめられている。近年、博物館のアーカイブズから、大学がこのレリーフを購入した際に、骨董商との間でかわされた書簡が発見された。そこで、現地資料調査をおこない、1918年～21年にかけての骨董商 C. T. Loo と博物館長ゴードン氏の書簡を確認し、300枚以上の資料を撮影した。

ギメ東洋博物館所蔵資料の調査

フランス・パリのギメ東洋美術館において、西安・碑林所蔵の「大秦景教流行中国碑」の複製品、西安のガラス乾板資料、唐・太宗昭陵「六駿」の複製品などを確認した。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

本研究の3つのアプローチを通じて、1900年初頭における足立喜六を中心とした古都・西安の文物や教育の状況、1910年代～30年の西安の文物の海外への流出した状況、1930年～40年代の西安の文物保護から博物館設置までの過程に関して、これまでにおこなわれてこなかった研究をおこなった。新たな資料の発見という点では、足立喜六氏遺品資料が最も重要な成果である。

4. 今後の研究の推進方策

本研究の途中、足立喜六氏遺品資料が発見されたことから、代表者は科研費前年度申請によって基盤研究(C)「近代日本人のみた古都・長安の風景—足立喜六遺品資料を中心に」に申請し、採択された(平成23-25年度)。今後は本研究で得た成果を基盤として、足立喜六氏の遺品資料の整理を着実にすすめてつつ、近代西安の都市史・文物保護史など波及する分野の研究をおこないたい。

5. 代表的な研究成果

[雑誌論文] (計2件)

①村松弘一「漢代における災害の救済(上)」

『日本秦漢史学会報』9号、2008年

②村松弘一「秦漢環境史研究の現在」

『歴史評論』699号、2008年

[学会発表] (計6件)

③村松弘一「西安の近代と文化財保護—西安

碑林管理委員会と西京籌備委員会」慶應義塾大学東アジア研究所研究会、2008年、慶應義塾大学

④村松弘一「西安の近代と文化財保護」慶應

義塾大学東アジア研究所「近代中国の地域像」研究会、2009年、慶應義塾大学

⑤村松弘一「近代西安都市史と文物史の資料

を求めて—足立喜六資料・ペンシルバニア大学アーカイブズ資料の調査」、陝西師範大学招待講演、2010年、陝西師範大学

⑥村松弘一「碑林から博物館へ—近代西安に

おける文物保護事業の展開」学習院大学史学会大会、2010年、学習院大学

⑦村松弘一「西安の近代と文物保護—近代中国

のある地域像—」慶應義塾大学東アジア地域研究センター報告会、2010年、慶應義塾

⑧村松弘一「清末西安の教育と日本人教習—

足立喜六を事例に」中国史学会(韓国)2010年、慶北大学校(韓国・大邱)

[図書] (計1件)

①村松弘一等『知識は東アジアの海を渡つ

た』丸善プラネット、2010年

[産業財産権]

○出願状況(計0件) ○取得状況(計0件)

[その他]

「ひらめき☆ときめきサイエンス」を実施

①「中国の古都・長安へのタイムスリッ—古写真の語る歴史—」(2009年)

②「宇宙と地下からのメッセージ—秦の始皇帝陵が語る古代中国—」(2010年)